

上下地域小中学校の在り方に係る説明会 資 料

とものつくるミライ

～上下地域学校再配置プロジェクト～

令和7年9月13日
府中市教育委員会

●目次

○はじめに

- 1 再配置の方針について
- 2 上下地域児童生徒数推計について
- 3 説明会及び意見交換会でいただいた御意見・御質問について
- 4 今後のスケジュール案について
- 5 上下地域学校再配置推進委員会について
- 6 スクールバスの運行について

○おわりに

〇はじめに

これまでの取り組みについて

日程	実施内容
令和6年10月3日	保護者代表・北部町内会 より連名で学校再配置に関する要望書及びアンケート結果の提出。
令和7年1月29日	保護者代表 と府中市教育委員会で意見交換会の実施
令和7年7月1日	保護者・学校運営協議会委員 を対象に説明会の実施
令和7年7月30日	保護者代表 と府中市教育委員会で意見交換会の実施
令和7年8月25日	北部町内会 と府中市教育委員会で意見交換会の実施

上下地域における小中学校の在り方について関係者の皆様と意見交換・協議を重ねてまいりました。

1 (1) 再配置の方針について

第1ステージ

上下北小学校

上下南小学校

第1ステージとして小学校を再配置したのち、第2ステージとして義務教育学校（一体型校舎）を整備する。

第2ステージ

上下北小学校

上下中学校

上下学園（仮）【義務教育学校】
※校舎は上下中学校を使用

理由

- ・小学校2校の早急な再配置を実現するため。（第1ステージ）
- ・小学校の再配置後も見込まれる児童生徒数の減少に対応するため。（ステージ2）

再配置時期（最短）

- 小学校2校の再配置（第1ステージ）
令和9年4月開校
（複式学級の解消などを行う必要があるため。）
- 義務教育学校の再配置（第2ステージ）

1（2） 再配置のメリットについて【ステージ1】小学校の再配置

○子供たちに与える変化

【協働的な学びの充実】

・多様な友達の考え方に触れる機会が増えることにより、自己の考えを広げ深め、よりよい学びを行う機会が充実する。

【上下地域の特色を生かしたカリキュラム開発】

・上下北小・上下南小学区それぞれの地域のよさを総合的に捉え、それを継承・発展していくための学びをつくることができる。

【多様な学習環境の提供】

・1小1中の併設型小中一貫校のよさを生かした工夫ある取組みの中で学ぶことができる。

○地域に与える変化

【伝統文化の継承】

・上下北小・上下南小学区を越え、各地域の伝統・文化を子供たちへ継承することができる。
・地域と学校が連携・協働して上下町の特色を生かした教育活動を行うことにより、上下町全体への愛着、誇りをもつ子供たちを育むことができる。

【学校支援体制の強化】

・学校運営協議会やPTAの組織再編により、より多様な活動が創出できるようになる。

【保小連携】

・保小を一貫した保護者ネットワークが構築できる。

1 (3) 再配置のメリットについて【ステージ2】義務教育学校への移行

○子供たちに与える変化

【9年間の学びの連続性】

- ・前期課程・後期課程の全ての教職員との関わりの中で学ぶことができる。
- ・教科担任制・教科指導が柔軟に導入できる。
- ・柔軟に教育課程を編成・実施しやすくなり、子供一人一人の可能性が輝く教育が受けやすくなる。
- ・特に生活科・総合的な学習の時間においては、上下町全体を学習材とした系統的・継続的な学びを積み重ねることができる。
- ・9年間のつながりの中で子供の成長を見守ることができ、発達段階や個別の課題に応じた支援ができるため、「中1ギャップ」の解消が期待できる。

【地域と一体となった学校運営】

- ・地域との連携や支援体制を一本化することで、より充実した学校運営につながる。（学校運営協議会）

○地域に与える変化

【学校を核とした地域づくりの実現】

- ・学校と社会教育施設の一体化を図るなど、子供と大人が相互に学び合える機会が創出できる。
- ・学校と地域の連携・協働がより密になり、学校と地域が一体となった取組を実施しやすくなる。

【ネットワークの強化】

- ・就学前から義務教育修了までを一貫したネットワークが構築できる。

2 (1) 上下地域児童生徒数推計について

R7. 9. 1時点

学校名	学年	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
上下北小	1年生	8	8	11	10	13	9	8
	2年生	7	8	8	11	10	13	9
	3年生	15	7	8	8	11	10	13
	4年生	15	15	7	8	8	11	10
	5年生	16	15	15	7	8	8	11
	6年生	18	16	15	15	7	8	8
	合計	79	69	64	59	57	59	59
上下南小	1年生	2	4	0	0	1	2	0
	2年生	8	2	4	0	0	1	2
	3年生	3	7	2	4	0	0	1
	4年生	8	3	7	2	4	0	0
	5年生	7	8	3	7	2	4	0
	6年生	7	6	8	3	7	2	4
	合計	35	30	24	16	14	9	7
上下中	1年生	23	24	22	23	18	14	10
	2年生	25	23	24	22	23	18	14
	3年生	22	26	23	24	22	23	18
	合計	70	73	69	69	63	55	42

学校名	学年	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
再配置後 小学校	1年生	12	11	10	14	11	8					
	2年生	10	12	11	10	14	11	8				
	3年生	14	10	12	11	10	14	11	8			
	4年生	18	14	10	12	11	10	14	11	8		
	5年生	23	18	14	10	12	11	10	14	11	8	
	6年生	22	23	18	14	10	12	11	10	14	11	8
	合計	99	88	75	71	68	66	54	43	33	19	8

学校名	学年	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
義務教育学校 上下学園 (仮)	1年生	12	11	10	14	11	8					
	2年生	10	12	11	10	14	11	8				
	3年生	14	10	12	11	10	14	11	8			
	4年生	18	14	10	12	11	10	14	11	8		
	5年生	23	18	14	10	12	11	10	14	11	8	
	6年生	22	23	18	14	10	12	11	10	14	11	8
	7年生	25	22	23	18	14	10	12	11	10	14	11
	8年生	23	25	22	23	18	14	10	12	11	10	14
	9年生	25	23	25	22	23	18	14	10	12	11	10
	合計	172	158	145	134	123	108	90	76	66	54	43

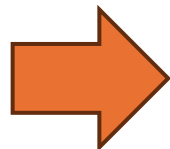
※空欄は、今後の出生数による

2 (2) 上下地域小学校の複式学級の状況について

●上下南小学校

令和7年度

学年	クラス編成
1年生	単式
2年生	なし
3年生	複式
4年生	複式
5年生	複式
6年生	複式



令和8年度

学年	クラス編成
1年生	なし
2年生	単式
3年生	なし
4年生	単式
5年生	複式
6年生	複式



令和8年度

学年	クラス編成
1年生	なし
2年生	単式
3年生	なし
4年生	単式
5年生	単式
6年生	単式

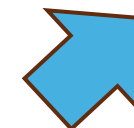


※クラス編成は特別支援学級を除いた通常学級のクラス編成を掲載しています。

令和9年度

学年	人数	クラス編成
1年生	10	単式
2年生	11	単式
3年生	12	単式
4年生	10	単式
5年生	14	単式
6年生	18	単式
合計	75	

令和9年度に再配置することになると令和8年度に統合加配により教員が配置され、単式学級でのクラス編成が可能となる。

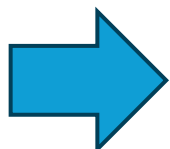


令和9年度に再配置する場合

●上下北小学校

令和7年度

学年	クラス編成
1年生	単式
2年生	単式
3年生	単式
4年生	単式
5年生	単式
6年生	単式



令和8年度

学年	クラス編成
1年生	単式
2年生	単式
3年生	複式
4年生	複式
5年生	単式
6年生	単式



令和8年度

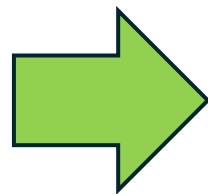
学年	クラス編成
1年生	単式
2年生	単式
3年生	単式
4年生	単式
5年生	単式
6年生	単式

2 (3) 上下中学校通常学級の状況について

●上下中学校

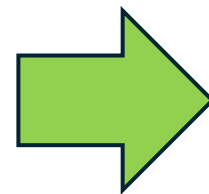
令和7年度

学年	人数	クラス編成
1年生	24	単式
2年生	23	単式
3年生	26	単式
合計	73	



令和12年度

学年	人数	クラス編成
1年生	10	単式
2年生	14	単式
3年生	18	単式
合計	42	



令和15年度

学年	人数	クラス編成
1年生	10	単式
2年生	11	単式
3年生	12	単式
合計	33	



令和12年度～令和15年度あたりには、現在の半分くらいの生徒数になる見込みである。
運動会・発表会など学校行事における参加人数の確保、多様な人との関わりの機会を確保していくためには義務教育学校に移行していく必要がある。

３（１）説明会及び意見交換会でいただいた御意見・御質問について

７月１日 保護者及び学校運営協議会委員向けに説明会を実施

内容（１部抜粋）

質疑・御意見	回答
①新校舎建築の計画はあるか？財政計画に載っているのか？	①新校舎建築の計画は現段階ではない。財政計画にもない。ただし、義務教育学校を開設するとなると不足教室が発生するので適切に対応していきたい。
②上下北小学校は土石流のイエローゾーンに入っているのではないか？	②土砂災害警戒区域に指定されている（特別警戒区域ではない）。土砂災害警戒区域（イエローゾーン）は、身の回りの危険度を把握するものであり、学校としては、避難確保計画を作成し、避難訓練を実施している。
③上下北小学校の入口が狭い。改修出来ないのか？	③土地の取得が必要となり、困難である。子供の安全確保については、入口近辺のミラーの角度の調整（土木課と協議中）、道路標示等で注意喚起等を行っている。
④再配置となると制服の買い替えなどの負担があると思うが？	④小学校の再配置については、在校生は現状の制服等を使用し、新入生の制服については上下北小学校の制服を使用する。
⑤上下中学校の立地は危険なのではないか。	⑤まずは小学校２校の再配置が最優先義務教育学校になることまで厳密に決めていくと、全体のスケジュールが後ろ倒しになってしまう。上下中の立地の危険性についても今後協議していく。教職員の見守りなどでの安全確認を検討する。
⑥小学校の再配置の時に上下北小学校の校舎を使用するのはなぜか？	⑥上下北小学校の方が、建築年が少し新しいこと、教室の広さが少し広いこと。バスで通学することになる児童数が少なくなることから総合的に判断し上下北小学校を使用する想定とした。

3（2）説明会及び意見交換会でいただいた御意見・御質問について

7月30日 保護者代表との意見交換会を実施

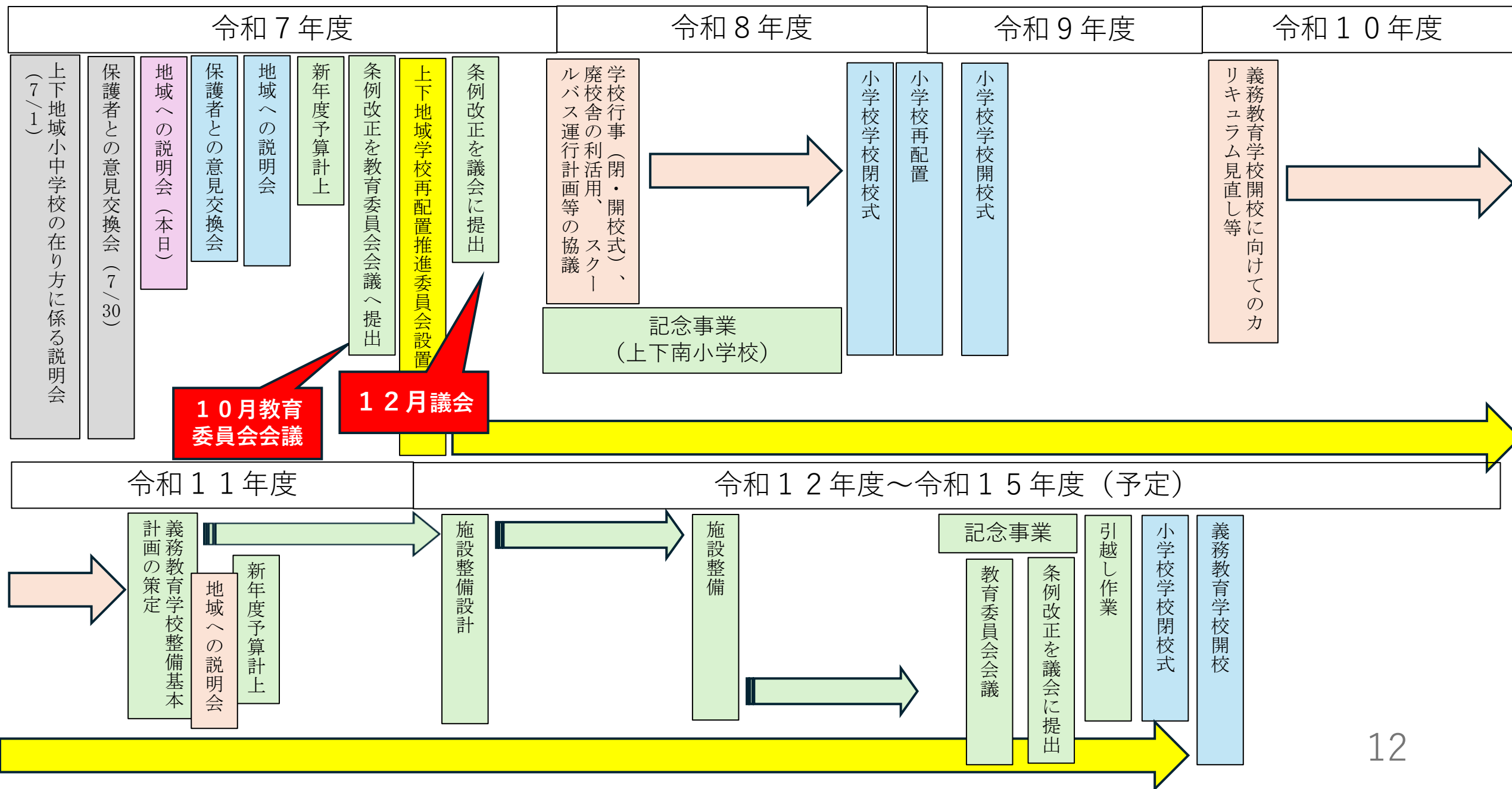
内容（1部抜粋）

質疑・御意見	回答
①義務教育学校になる時には上下中学校のプールも直すのか？	①上下中学校のプールは水深が深く、小学生が使用するには危険である。また、使用しなくなってから長く、修繕には多額の費用がかかることが見込まれる。
②スクールバスには全員が乗れるのか？	②小学生であれば自宅から学校まで4キロ以上あること、再配置の影響を受けて通学する学校が変わったことなどが乗車できる条件となる。
③上下北小学校を使用する場合、バスの停留所が狭いのではないか。	③現在市営住宅そばの広場を使用している。同時にバス・タクシーが到着しないように調整をして対応したい。
④上下北小学校の校舎を使うという事で決定か？上下南小学校の校舎見学などを実施しなくても良いのか？	④現段階では上下北小学校の校舎を使用することを考えている。校舎の検討などをしていると全体のスケジュールが遅れる可能性があり、難しい。
⑤再配置に関する町民への広報の手段は？	⑤ホームページなどを考えている。町民のみなさんに知っていただけるように取り組んでいく。
⑥令和9年4月に小学校2校の再配置を絶対にして欲しい。	⑥府中市教育委員会としても同様の考えで、令和9年4月の小学校再配置に向けて全力で取り組んでいきたい。

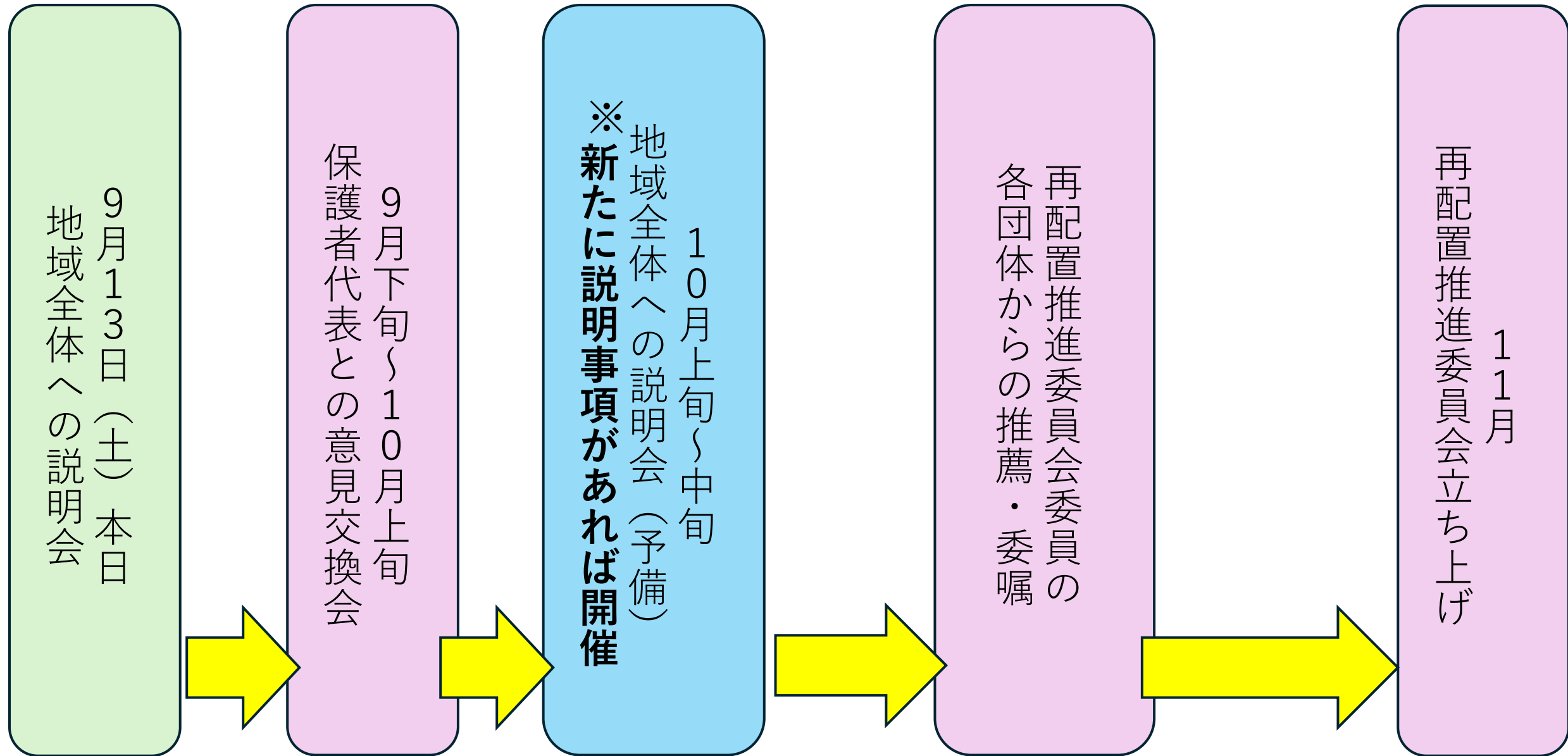


上下北小学校の校舎を使用して令和9年4月に小学校2校の再配置を行い、最終的に義務教育学校に移行する方向で保護者代表と確認をした。

4 (1) 今後のスケジュール案について (全体)



4（2）今後のスケジュール案について（推進委員会立ち上げまで）



5（1）上下地域学校再配置推進委員会について

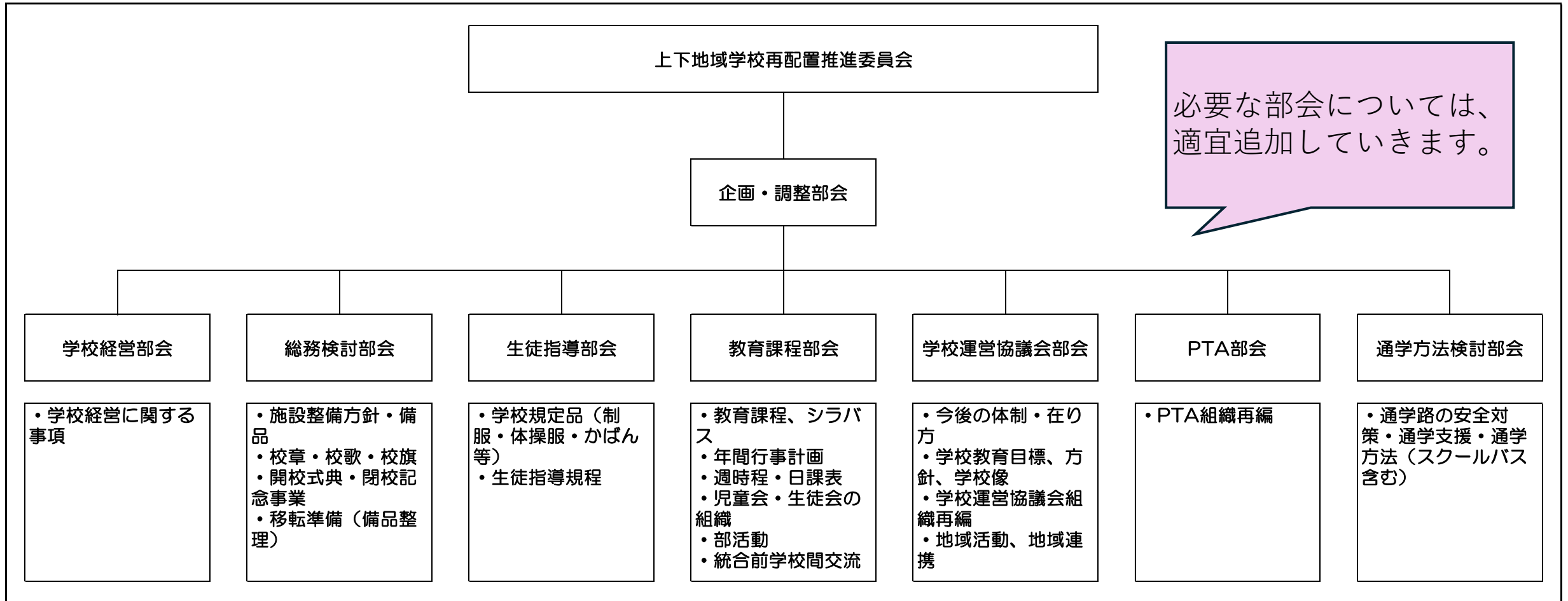
●設置の目的

上下地域における、市立小中学校の再配置についての必要事項協議・決定していくために設置する。
協議会の中で、教育課程、施設整備、通学に関することなどを各部会に分かれて検討する。

●推進委員会構成（案）

学校教育に関し識見を有する者	1名	大学教授等を想定
上下地域の学校運営協議会を代表する者	3名	各校の学校運営協議会から選出
上下地域の町内会を代表する者	4名	上下地域14町内会の会長から4名を選出
上下地域小学校の保護者を代表する者	4名	両小学校から2名ずつを選出
上下地域中学校の保護者を代表する者	2名	中学校から2名を選出
上下地域保育所の保護者を代表する者	2名	保育所から2名を選出
上下保育所に在籍する職員を代表する者	1名	上下保育所長
上下地域3校に在職する教職員を代表する者	3名	各校校長
合計		20名

5 (2) 部会のイメージ (案)



6 スクールバスの運行について

運行条件
○小学校2校の再配置の場合
通学距離が概ね4 km以上で、再配置の影響を受け通学する学校の位置が変更となった児童について、スクールバス又はスクールタクシーを運行する。
（上下北小学校区で現在スクールバス、タクシーで通学している児童については引き続きスクールバス、タクシーで通学。）

上下南小学校の校舎を利用する場合、年間約900万円の差額が生じる。

●試算条件
人数：令和7年5月1日時点の推計を使用。
金額：令和6年度の実績から積算。
その他：実際の運行ルートは、児童の居住地などを勘案して決定する。

●令和6年度の実績

学校	路線名	利用人数	車種	運行費用（R6実績）	合計
上下南	1号清岳	6人	ジャンボタクシー	3,781,200円	21,337,400円
	5号矢野	2人	小型タクシー (R6はジャンボ)	3,753,600円	
	6号矢多田	0人	運行無し	0円	
上下北	2号階見	11人	小型バス	7,133,800円	
	3号小塚	5人	ジャンボタクシー	4,416,000円	
	4号有福	1人	小型タクシー	2,252,800円	

●上下北小学校の校舎を利用する場合

学校	路線名	利用人数 (R9想定)	車種	運行費用想定	合計
上下南	岡屋井永松崎矢多田	9	ジャンボタクシー	4,500,000円	21,000,000円
	矢野国留	8	ジャンボタクシー	4,500,000円	
上下北	階見	10	小型バス	7,000,000円	
	小塚	4	小型タクシー	2,500,000円	
	有福	2	小型タクシー	2,500,000円	

●上下南小学校の校舎を利用する場合

学校	路線名	利用人数 (R9想定)	車種	運行費用想定	合計
上下南	清岳	3	小型タクシー	4,500,000円	30,500,000円
	矢野	0	小型タクシー	0円	
上下北	階見	10	小型バス	7,000,000円	
	上下①	21	小型バス	7,000,000円	
	上下②	21	小型バス	7,000,000円	
	小塚	4	小型タクシー	2,500,000円	
	有福	2	小型タクシー	2,500,000円	

〇おわりに

ともにつくるミライ

～上下地域学校再配置プロジェクト～

**保護者・地域・学校・教育委員会で力を合わせて
上下地域におけるよりよい教育の提供により
子供たちのミライが広がる学校を創造してまいりましょう。**